

What Makes a Zentangle® Tangle?

July 2026

ゼンタングル®のタングルとは？

翻訳者注

このページは TanglePatterns.com に掲載されている英語版記事の日本語訳です。

原文の意図と、ゼンタングル創始者 Maria Thomas 氏および Rick Roberts 氏が長年伝えてきた考え方をできる限り忠実にお伝えすることを目的としています。

用語については、日本のゼンタングル・コミュニティで一般的に使用されている「タングル」「パターン」「ステップアウト」などの表現を採用しています。

TanglePatterns.com にパターンを投稿しようと考えていますか？

この記事では、私が投稿作品を拝見する際の視点と私が投稿作品をチェックする際のポイントと、優れたゼンタングル・タングルによく見られる特徴についてご紹介します。

パターン制作者の方々から最もよくいただく質問のひとつが、

「どのようなパターンがタングルと呼ばれるのでしょうか？」

というものです。

とても良い質問です。

TanglePatterns.com には毎年たくさんの創造的なパターンが寄せられます。その多くは美しく、興味深く、描くこと自体を楽しめる素晴らしいものです。

しかし、それらがすべてゼンタングル・メソッドの中でタングルとして機能するとは限りません。

この記事では、私が投稿作品を拝見チェックする際に参考としている視点と、何よりもゼンタングル創始者である Maria Thomas 氏と Rick Roberts 氏が示してきた原則についてご紹介します。

これは掲載可否を判断するためのチェックリストではありません。

むしろ、私の審査の指針となっている考え方と、多くの優れたタングルに共通して見られる特徴をまとめたものです。

こうした考え方を理解することで、ご自身のパターンを見直す手がかりになるかもしれません。ただし、掲載の判断にはそれ以外にもさまざまな要素が関わります。

タングルに「公式な定義」はあるのでしょうか？

何がタングルで、何がタングルではないのかを明確に定めた公式ルールブックは存在しません。。

しかし、ゼンタングル共同創始者の **Maria Thomas** 氏は長年にわたり、どのようなパターンがゼンタングル・メソッドの中で心地よく機能するのか、その特徴についてたびたび語ってきました。しかし、ゼンタングル共同創始者のマリア・トーマス氏は、ゼンタングル・メソッドにおいて、パターンがタングルとして成立するために大切な要素について、これまでたびたび語ってきました。

この記事でご紹介する考え方は、そうした教えと、私自身が長年 **TanglePatterns** のためにタングルを観察し、ステップアウトを作成してきた経験に基づいています。

これらは厳格なルールではありません。

むしろ、そのパターンが学びやすく、教えやすく、応用しやすいものかどうかを考えるための実践的な視点です。

また、そのパターンがゼンタングルの伝統の中でどのように機能するかを考える際の参考にもなるでしょう。

タングルは「絵」ではなく「パターン」

タングルの本質は、繰り返しによって生まれるパターンにあります。

この違いはシンプルに聞こえるかもしれませんが、ゼンタングル・メソッドを理解するうえでとても大切な考え方です。

タングルは、認識できるモチーフや物を何度も描くことで作られるものではありません。

むしろ、シンプルなストロークや形、構造的な要素を繰り返すことで生まれるパターンです。

たとえば、小さな花を並べて描くことはできます。

しかしその場合、繰り返しているのは「花」というモチーフであって、タングルを構成するストロークや構造ではありません。

タングルでは、基本となるストロークや構造を繰り返すことでパターンが生まれます。

その結果として、見る人によっては花や葉、貝殻、羽根などを連想することがあるかもしれません。

しかし、それらを最初から描こうとすることと、ストロークの繰り返しから自然に現れる形とは異なります。

Maria Thomas 氏は **IDOZ 2025** のビデオの中で、ストロークそのものが繰り返されていないのであれば、それはタングルリングというよりドローイングに近いと説明しています。

これは新しいパターンを考案する際に、多くの人が最初に気づく重要なポイントのひとつです。

目標は何かを描くことではありません。

シンプルな要素の繰り返しから生まれるパターンを発見することです。

ゼンタングルの魅力のひとつは、そうした観察と発見のプロセスそのものにあります。

非具象という考え方

ゼンタングル・メソッド™の重要な原則のひとつに、「非具象」という考え方があります。

『The Book of Zentangle』には、次のように記されています。

「非具象であること。ゼンタングル作品は非具象であることを意図しています。ゼンタングルの基本ストロークも非具象です。私たちはハートや星、花のような複雑なモチーフを教えません。タングルもまた非具象です。」

ここで大切なのは、完成したパターンが何かを連想させるかどうかではありません。

タングルの中には、見る人によって花や葉、貝殻、羽根、波などの自然な形を思い浮かべるものもあります。

しかし、それらは認識できるモチーフを描こうとして作られたものではなく、シンプルなストロークや構造の繰り返しから自然に生まれた結果です。

ゼンタングル・メソッドでいう「非具象」とは、何か特定の対象やシンボルを描くことを目的としないという考え方です。

この考え方に照らし合わせると、花やハート、星、動物、文字など、認識できるモチーフを主な構成要素として成り立つパターンは、一般的には伝統的なゼンタングルにおけるタングルの考え方とは異なるものと考えられます。

もちろん、それらに創造性や美しさ、芸術的価値がないという意味ではありません。

そうしたパターンには、それぞれ独自の魅力と表現の楽しさがあります。

ただ、それらはゼンタングル・メソッドにおけるタングルとは異なる目的や役割を持つものと言えるでしょう。

シンプルさは制約ではなく強み

新しいパターンを考えると、多くの人は独創性を大切にします。

もちろん、それは素晴らしいことです。

しかし、長く親しまれるタングルは、必ずしも最も複雑なものとは限りません。

Maria Thomas 氏と Rick Roberts 氏は、タングルを

「魔法のようで、シンプルで、そして簡単に描けるもの」

と表現しています。

課題は単に新しいものを発明することではありません。

本当の課題は、覚えやすく、教えやすく、そしてさまざまな年齢や経験レベルのタングラーが楽しめるパターンを生み出すことです。

ひとつの目安として、次のように考えてみるとよいかもしれません。

「このパターンは、明確なステップアウトを見れば他の人も再現できるだろうか？」

優れたタングルは、複雑さによって魅力を生み出すものではありません。

むしろ、シンプルな要素の繰り返しから豊かな表現が生まれるところに、その魅力があります。

また、優れたタングルは描くたびに新しい可能性を見せてくれます。

サイズを変える。

向きを変える。

組み合わせる。

一部を強調する。

あるいは別のタングルと組み合わせる。

こうした探求を通じて、シンプルなタングルは驚くほど多様な表情を見せてくれることがあります。

新しさだけを追い求めるのではなく、繰り返し描きたくなるかどうか。

他の人に伝えたいくなるかどうか。

そうした視点も、タングルを考える際の大切な手がかりになるでしょう。

優れたタングルに共通する特徴

ゼンタングル・メソッドの大きな魅力のひとつは、紙にペンを置く意欲さえあれば、ほぼ誰もが成功体験を得られることです。

特別な芸術的才能や高度な技術は必要ありません。

シンプルなストロークをひとつずつ積み重ねることで、多くの人が自分でも驚くような美しい作品を生み出すことができます。

こうした「誰もが取り組みやすい」という特徴は、ゼンタングル・メソッドの大切な考え方のひとつです。

そのため、新しいタングルを評価するとき、私は次のような点を考えます。

- 学びやすいだろうか？
- 説明を見なくても覚えられるだろうか？
- シンプルなストロークの繰り返しによって構成されているだろうか？
- ステップアウトによって分かりやすく説明できるだろうか？
- 探求やバリエーションの余地があるだろうか？
- 「描くこと」よりも「タングルリング」に近い体験を生み出すだろうか？

こうした特徴を持つパターンは、多くの場合、長く親しまれるタングルへと成長していきます。

もちろん、すべての優れたタングルがこれらの特徴を同じように備えているわけではありません。

しかし、長年にわたりゼンタングル・コミュニティの中で愛され続けているタングルを見てみると、これらの要素が共通して見られることは少なくありません。

タングルを評価する際に大切なのは、「どれだけ複雑か」ではなく、「どれだけ多くの人が楽しみながら描けるか」という視点なのかもしれません。

投稿をご検討中の方へ

TanglePatterns.com への投稿を考えている方は、ご自身のパターンについて次のような視点から見直してみると役立つかもしれません。

- 非具象的なパターンだろうか？
- ストロークや構造が繰り返されているだろうか？
- 認識できるモチーフの繰り返しではなく、パターンとして機能しているだろうか？
- 他の人に教えられるほどシンプルだろうか？
- 明確なステップアウトによって説明できるだろうか？
- ゼンタングル・メソッドの考え方に沿っているだろうか？

こうした問いは、そのパターンがゼンタングル・タングルとして機能する可能性を考えるうえで役立ちます。これらの問いかけは、そのパターンがゼンタングルのタングルとして成り立つかどうかを考える際の参考になります。

ただし、これらの条件を満たしていることが掲載を保証するものではありません。

掲載の判断には、パターンの多様性、掲載のタイミング、既存タングルとの類似性、説明の分かりやすさ、そしてサイト全体のバランスなど、さまざまな要素が関わります。

また、優れたパターンであっても、すでに紹介されているタングルと非常によく似ている場合や、その時点でサイト構成との兼ね合いによって掲載を見送ることがあります。

そのため、掲載されなかったことが必ずしもパターンの価値を意味するわけではありません。

最後に

すべての美しいパターンがタングルであるとは限りません。

また、多くのパターンは「ドローイング」と「タングリング」の間のどこかに存在しています。

それは決して悪いことではありません。

もしこの記事を読んで、ご自身のデザインがまだタングルとして十分に機能していないかもしれないと感じたとしても、どうか落胆しないでください。

多くのアーティストは、最初のアイデアを観察し、試し、簡略化し、洗練させていく過程の中で、最も魅力的なタングルを生み出しています。

花や葉、あるいはその他の認識できるモチーフとして始まったアイデアが、その構造を探求し、単純化していく過程で、まったく異なるタングルへと発展していくこともあります。

観察し、探求し、発見すること。

それはゼンタングル・メソッドの大切な精神のひとつです。

新しいパターンを考えるたびに、新しい学びや発見の機会があります。

私の目標は、ゼンタングル・メソッドの精神と原則をよく表現するパターンをご紹介しますながら、タングルという豊かで進化し続ける創造の言語をさらに広げていくことです。

実験し、探求し、この創造的なコミュニティに貢献してくださる皆さまに心から感謝します。

皆さまの好奇心と創造力が、タングリングというアートをこれからも豊かに育てていくのです。

パターンの投稿方法

投稿準備と提出方法については、こちらのガイドをご覧ください。

[パターン投稿ガイド](#)